

池へのコインを動物愛護に

大阪・鶴見緑地の花の万博を投げ込み、日曜日など人がを続けているオリバーさんの国際庭園で、入場者が池に多いたときには底が見えなくな提案で、「たとえ少額でも、コインを投げ込み、処理に困るほど。池を清掃するとき動物保護への関心が高い英国、こっていた出展者が多いなか、は、コインも引き上げて洗ったの伝統を広く知ってもらいた、イギリス庭園の出展者が閉幕してから再び池に戻すなど手間めにも」と、日本動物福祉協会(本部・東京)へ寄付することを決めた。

英国の伝統 寄付を決定

花 博

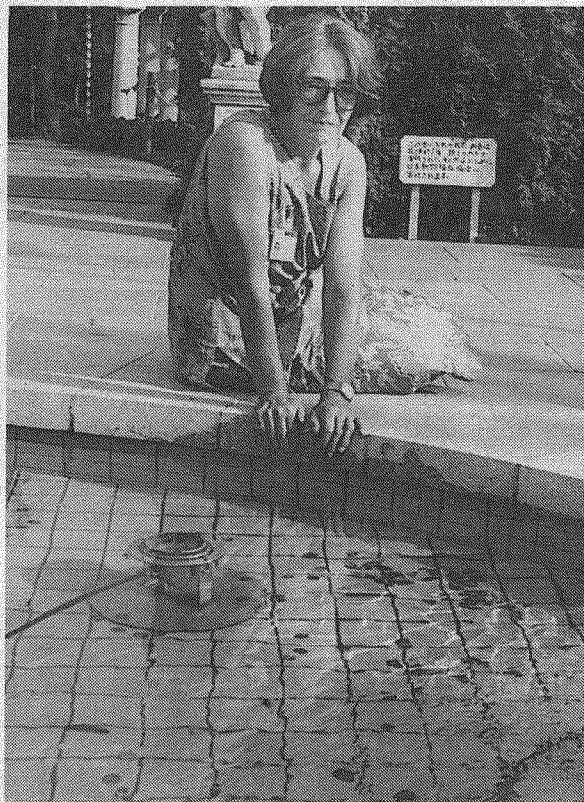
約六千円に上り、花の万博協会の外事部に預けている。

イギリス庭園は一千平方メートル、山のエリアにある国際庭園の中でも最大規模。池は十八世紀の古典的な寺院を模した東屋がある広場に

がかかっていた。

庭園を管理しているオリバーさん、ソ連などのせせらぎや噴水にコインが投げ込まれ、各国とも寄付などの処

理を検討中だ。五円玉や十円玉などのコイン 庭園出展委員会と相談。二十年前から日本で動物愛護運動



コインが投げ込まれている英国庭園の池とオリバーさん(大阪・鶴見緑地の花の万博の山のエリアで)

各国も`処理、を検討中